



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2025年度 第1四半期 決算説明会資料

2025年8月6日
株式会社UACJ



2025年度第1四半期 決算概況

前提条件	FY24 1Q	FY25 1Q	期初 予測	単位
LME	2,519	2,447	2,500	\$/t
為替レート	156	145	145	円/\$
	36.7	33.1	34.5	THB/\$
ドバイ原油	85	67	80	\$/bbl

2025年度第1四半期 業績

	前年同期 実績	実績	前年同期比
販売数量(千t)	315	334	19
売上収益	2,476	2,620	144
事業利益*1	168	79	△ 89
最終利益*2	147	13	△ 134
Adjusted EBITDA*3	262	174	△ 88

2025年度 業績予想

2025/5/13公表 (変更なし)	進捗率
1,351	24.7%
10,400	25.2%
460	17.2%
200	6.5%
855	20.4%

発表のポイント

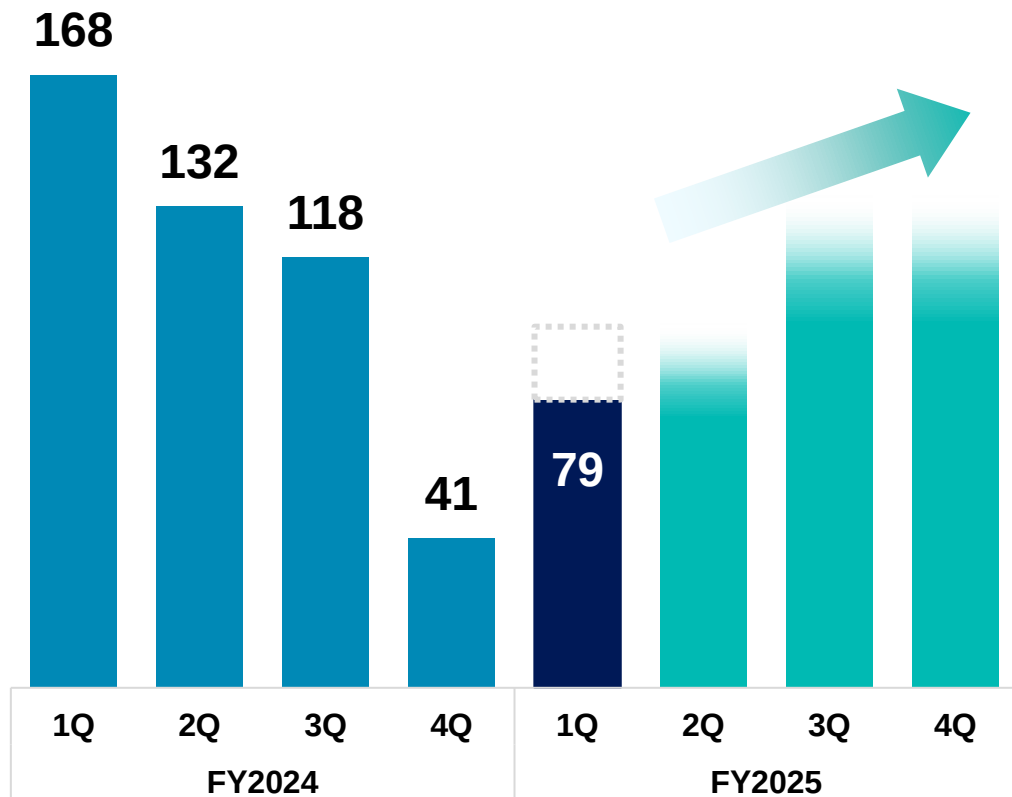
第1四半期業績	➤ グローバルでの缶材需要、特に北米での需要が好調に推移 ➤ 在庫コストと地金調達の時期ずれにより収益減(一過性要因) ➤ 原材料価格の高止まり ➤ 為替変動(ドルバツ)の影響等により、UATH*4での事業利益が悪化
通期業績予想	➤ 通期業績予想: 変更なし 事業利益460億円、最終利益200億円 ➤ 下期にかけ、日本国内向け製品の価格改定効果や米国増産投資効果が顕現 ➤ 米国においては、第2四半期以降から原材料調達のコストメリットを見込む ➤ 航空宇宙・防衛材事業は計画通りに立ち上げ中
TOPICS	➤ 格付A格を取得(格付情報センターおよび日本格付研究所による格付) ➤ 株式分割を実施予定(2025年9月30日を基準日として、2025年10月1日に普通株式1株につき4分割)

*1 事業利益: 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの
*2 最終利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益
*3 Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響等
*4 UATH: UACJ (Thailand) Co., Ltd.

2025年度 事業利益見通し

収益確保の施策により、事業利益460億円の計画に変更なし

四半期事業利益推移(億円)



第1四半期想定への未達要因

- 在庫コストと地金調達の時期ずれにより収益減(一過性要因)
- 為替の変動のマイナス影響(ドル・パーツ)

第2四半期以降の見通し

計画 どおり 実行

- 北米缶材需要の捕捉、国内厚板需要の下期回復
- 国内の価格改定による階段状の収益改善
- TAA*の増産投資効果の2Q以降の発現

未達分の 回復策

- 米国における原材料調達のコストメリット拡大
- 国内価格改定等でさらなる収益改善
- 製造コスト、販管費削減のさらなる強化

- 1. 2025年度 第1四半期業績**
- 2. 2025年度 業績予想**
- 3. 企業価値の向上に向けた取り組み**
- 4. ご参考**

1. 2025年度 第1四半期業績



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

1. 業績

第1四半期 業績

(単位:億円)

	2024年度 1Q (A)	2025年度 1Q (B)	増 減 (B)－(A)
売上収益	2,476	2,620	144
事業利益	168	79	△ 89
棚卸資産影響等	51	6	△ 45
営業利益	219	85	△ 134
最終利益	147	13	△ 134
1株あたり当期利益 (円 / 株)	304	29	△ 275
Adjusted EBITDA	262	174	△ 88
前提条件			
LME (\$/t)	2,519	2,447	△ 72
為替レート(円/\$)	156	145	△ 11
為替レート(THB/\$)	36.7	33.1	△ 3.6
ドバイ原油 (\$/bbl)	85	67	△ 18

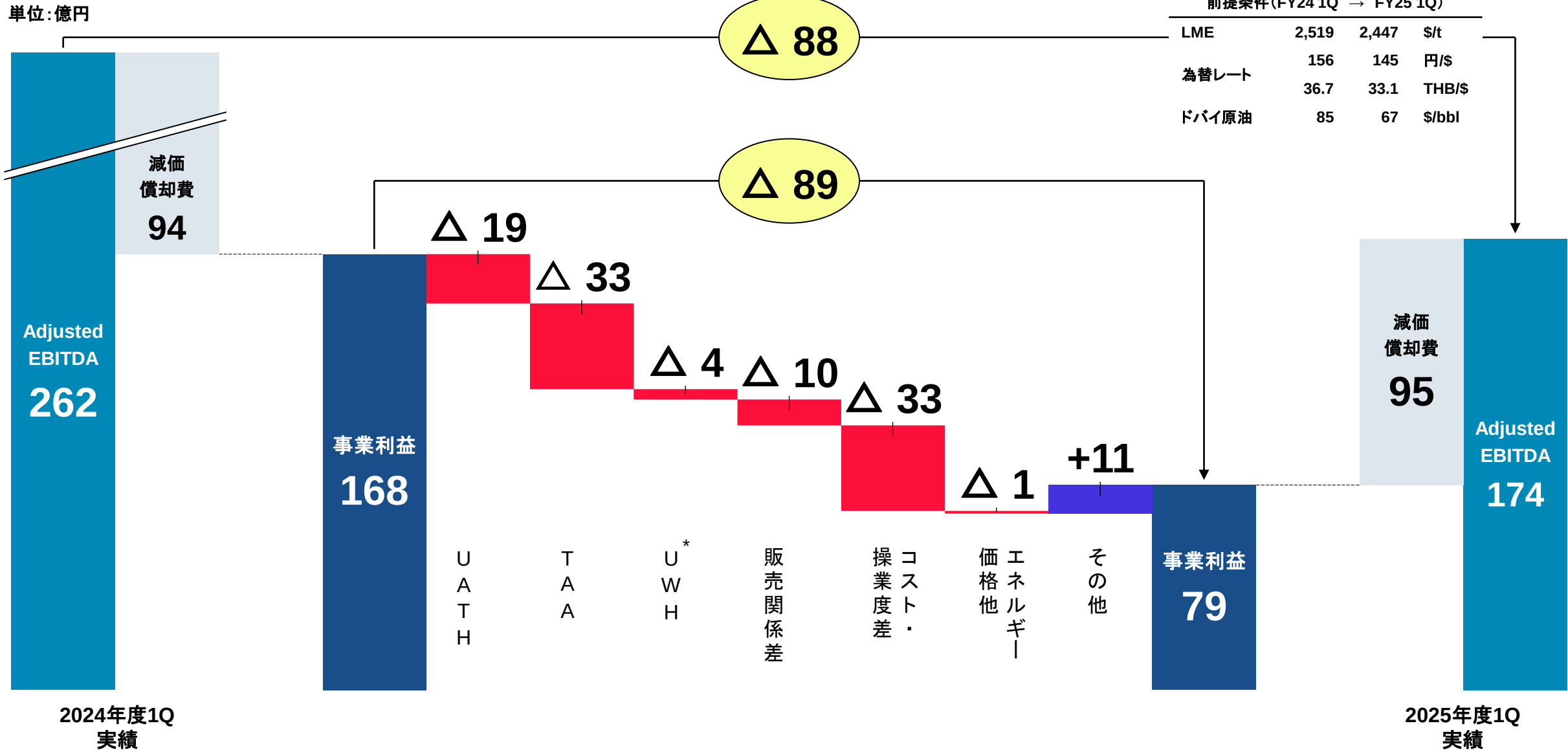
アルミ板 品種別売上数量

(単位:千t)

品種	2024年度 1Q (A)	2025年度 1Q (B)	増減 (B)-(A)
缶材*	208	226	18
箔地	11	12	1
IT材	2	2	0
自動車材	35	33	△ 2
厚板	10	8	△ 2
その他一般材	48	52	4
合計	315	334	19
日本市場	130	122	△ 8
海外市場	185	212	27

1. 業績

事業利益・Adjusted EBITDA 分析 (2024年度1Q → 2025年度1Q)



1. 業績

連結財政状態計算書

営業債権の増加により、運転資金が増加

連結財政状態計算書			
(単位: 億円)	25/3末 (A)	25/6末 (B)	増減額 (B－A)
現金及び現金同等	263	231	△32
営業債権及びその他の債権	1,873	2,060	187
棚卸資産	2,441	2,466	24
その他の流動資産	218	280	62
有形固定資産	3,943	3,931	△12
その他の非流動資産	961	937	△24
資産合計	9,700	9,905	205
営業債務及びその他の債務	1,406	1,421	15
借入金	3,407	3,788	381
その他	1,691	1,576	△115
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,906	2,833	△73
非支配持分	290	287	△2
負債及び資本合計	9,700	9,905	205

	使 途		調 達	
長期 資金	設備投資等	172	税引前利益	37
	法人税等支払	17	減価償却費	95
	配当金支払	36		
			長期資金不足	94
短期 資金	棚卸資産の増加	50		
	債権債務増減他	110		
			短期資金不足	160

長期資金	△ 94 億円
短期資金	△160 億円
合計	△254 億円

1. 業績

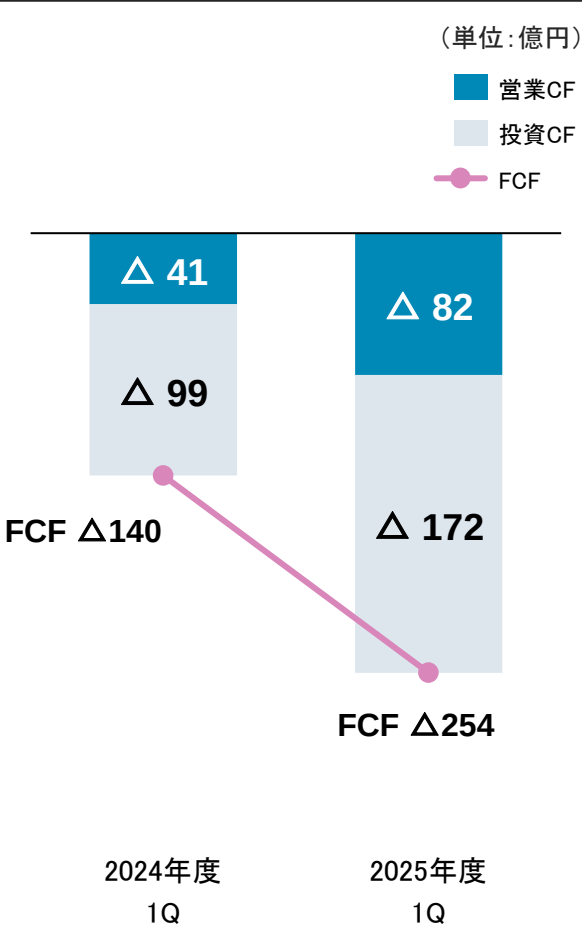
連結キャッシュ・フロー計算書

2025年度末D/Eレシオ 目標の1.0倍未満を据え置き

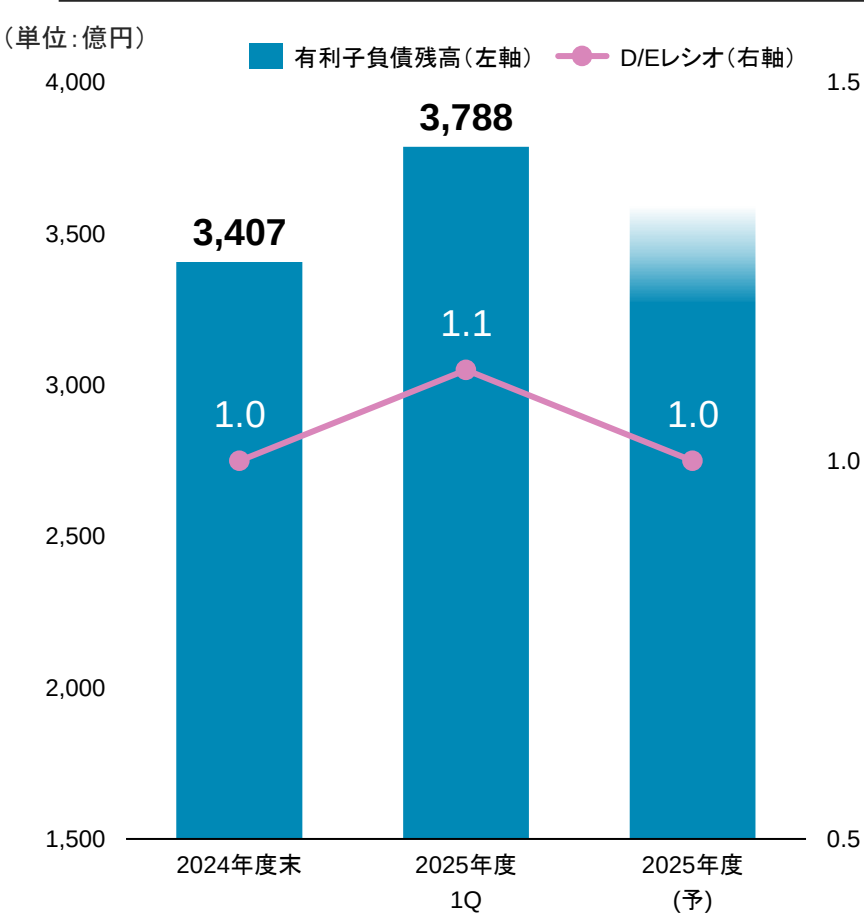
連結キャッシュ・フロー

	(単位: 億円)	
	2024年度 1Q	2025年度 1Q
税引前利益	208	37
減価償却費	94	95
債権債務増減他	△ 343	△214
営業キャッシュ・フロー計	△ 41	△82
設備投資 他	△99	△172
フリーキャッシュ・フロー	△ 140	△254
ファイナンススキーム・配当他	22	△176
現預金増減(△は増加)	72	32
外貨建借入金換算差(△は増加)	△ 55	17
有利子負債(△は増加)	△ 100	△381

連結キャッシュ・フロー 推移



有利子負債残高・D/Eレシオ*



* D/Eレシオは劣後ローンの資本性を考慮

1. 業績

タイ(UATH)の状況

価格改定で損益改善を目指す

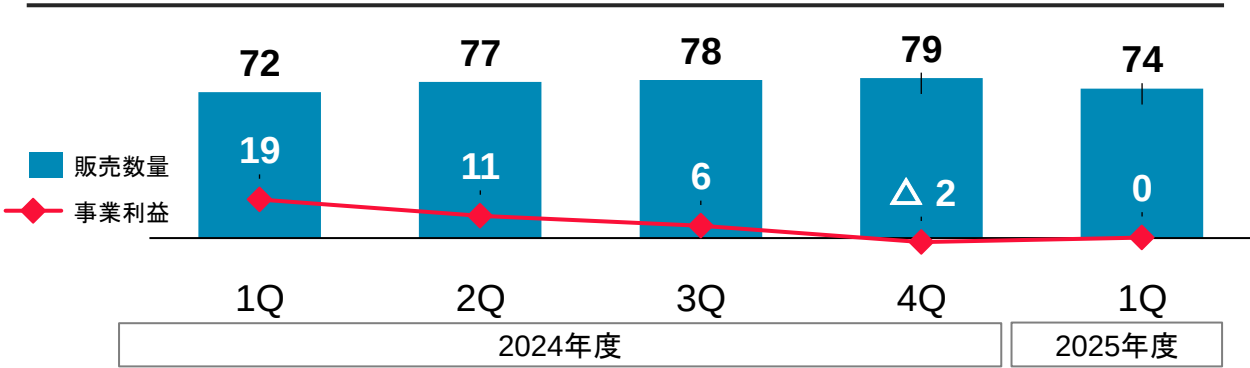
総括

- 需要 : グローバル缶材の需要は今後も伸長する見立てに変更なし
- 販売 : **【北米向け】**
計画通りの出荷を継続
【ASEAN・その他地域】
 - ・ 価格改定の実施(中国増値税還付の廃止影響)
 - ・ 新規取引顧客の拡大推進
- 損益 : ・ 為替環境の変動あるも、価格改定で損益改善を目指す

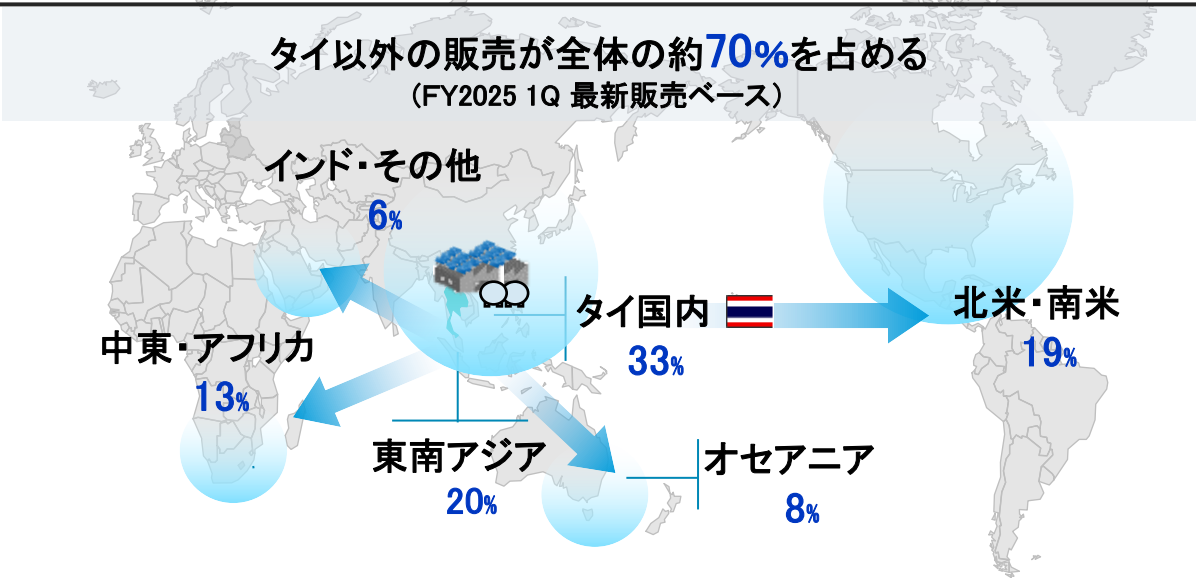
(単位: 億円)	24年度 1Q	25年度 1Q	前年同期比
販売数量(千t)*	72	74	2
売上収益	453	467	14
営業利益	52	△ 15	△ 67
事業利益	19	0	△ 19

*TAAへの出荷分含む
© UACJ Corporation. All rights reserved. ※2024年度からの業績推移はP32をご参照ください。

販売数量(千t)・事業利益(億円)推移



エリア別の販売比率(世界33カ国)



米国(TAA)の状況

旺盛な缶材需要の取り込みに向けた増産投資による販売数量増加

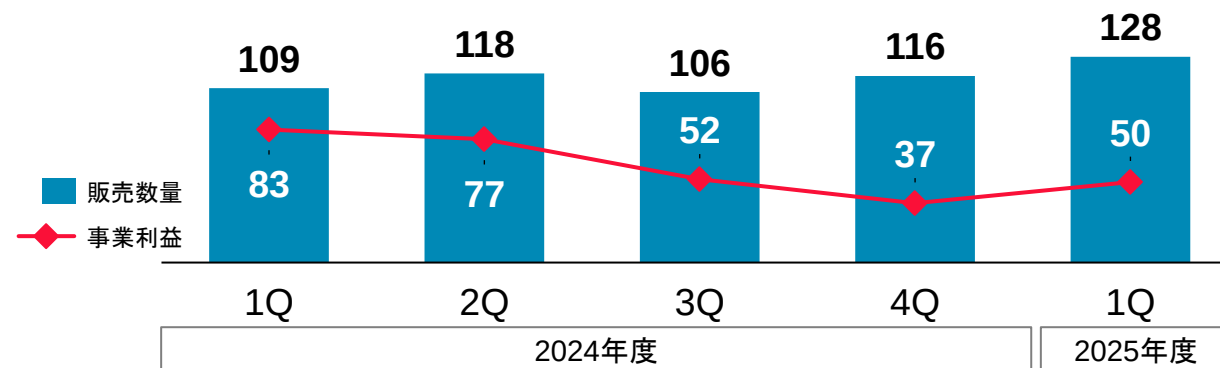
総括

- 需要** : ・ 米国缶材需要は2030年まで3%の成長を見込み、引き続き堅調
- 生産** : ・ 高水準での生産が継続
・ 設備増強投資は順調に進捗
・ 原材料調達のコストメリットが改善傾向
- 販売** : ・ 販売の好調が継続

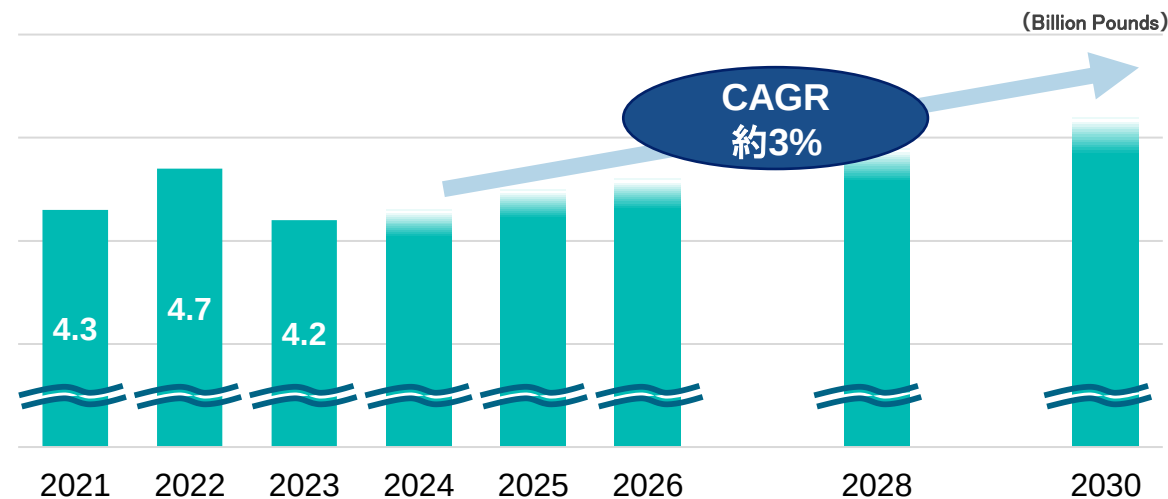
(単位: 億円)	24年度 1Q	25年度 1Q	前年同期比
販売数量(千t)	109	128	19
売上収益	713	845	132
営業利益	107	66	△ 41
事業利益	83	50	△ 33

※2024年度からの業績推移はP32をご参照ください。

販売数量(千t)・事業利益(億円)推移



米国缶材需要の推移



出典: UACJ調査による

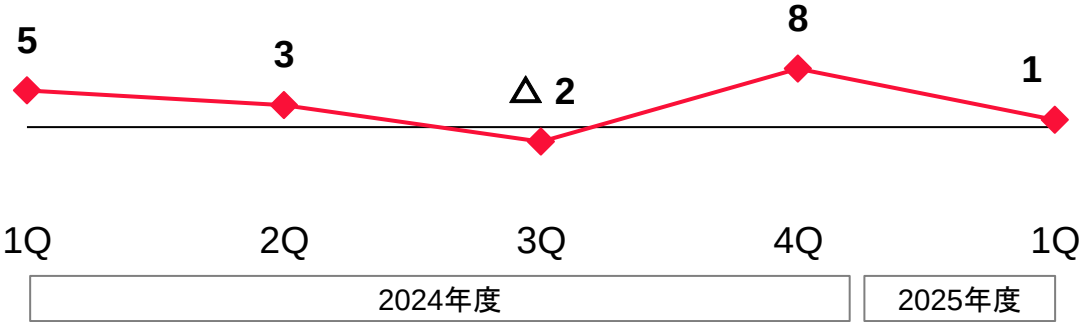
BEVの伸び悩みにより減収減益

総括

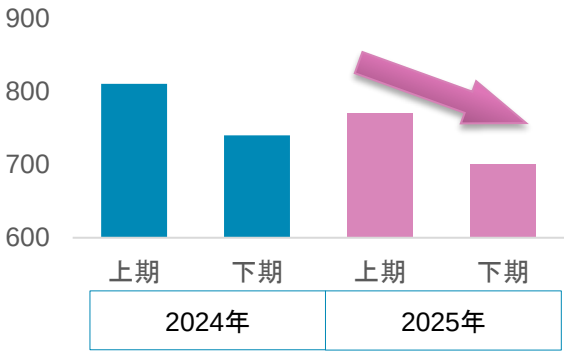
- 事業環境
- 直近の北米EV市場は政策の不確実性、政策支援の縮小で鈍化
- 販売
- 日系OEMへの販売が継続
 - 主要顧客の生産台数が低調に推移し、売上収益が減少
- 損益
- 2025年度は厳しい事業環境が続くものと見通すが、コストダウン施策等の徹底を継続

(単位: 億円)	24年度 1Q	25年度 1Q	前年同期比
売上収益	101	94	△ 7
営業利益	4	△ 0	△ 4
事業利益	5	1	△ 4

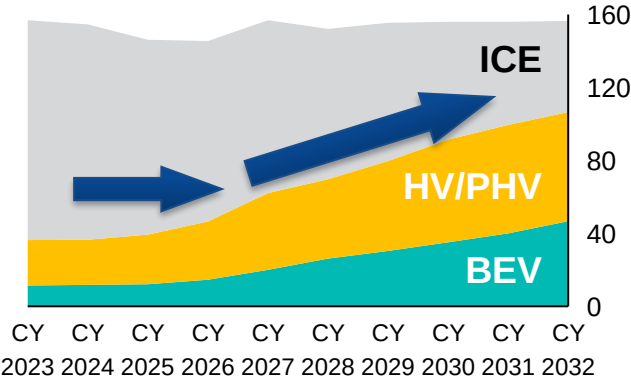
事業利益推移(億円)



北米 自動車生産台数予測推移
(万台)



パワートレイン別の
北米市場生産台数変化(万台)



北米の自動車生産台数は直近では右肩下がり～横ばいの見通し
中長期的には増加に転じ、BEV、HV/PHVの割合が増える予測

※2024年度からの業績推移はP32をご参照ください。

2. 2025年度 業績予想



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2025年度 事業環境認識

事業環境認識の変化

- グローバルでのアルミ缶材需要は堅調に推移
- 航空宇宙・防衛材事業は計画通りに立ち上げ中

-
- 各拠点において調達する原材料価格の高止まり
 - 在庫コストと地金調達の時期ずれにより収益減（一過性要因）
 - 為替の変動による影響（パーツ高ドル安）
 - 北米自動車需要の減退

米国追加関税とその影響

■ 鉄鋼・アルミ製品関税	50%
■ 自動車・自動車部品関税	15%
■ 相互関税	15%



UACJグループへの直接の影響は期初想定より変更はないが
今後の状況を注視する

*期初想定は、P27をご参照ください。

2025年度 事業利益計画460億円に変更なし

【日本】

- ✓ 国内価格改定等でさらなる収益改善
- ✓ 厚板需要の回復の捕捉
- ✓ 航空宇宙・防衛材事業は計画通り

【TAA】

- ✓ 第2四半期以降に原材料調達のコストメリットを見込む
- ✓ 下期にかけての米国増産投資は予定通り進行

【UATH】

- ✓ 米国競合工場閉鎖を受けた自動車関連材の販売開始
- ✓ 価格改定による収益改善

製造コスト、販管費削減のさらなる強化

2025年度 通期業績見通し

(単位:億円)

	2024年度 実績 (A)	2025年度 見通し (5月13日公表) (B)	増 減 (B)－(A)	
売上収益	9,998	10,400	412	
事業利益	459	460	1	
棚卸資産影響等	115	△ 10	△ 125	
営業利益	574	450	△ 124	
最終利益	280	200	△ 80	
1株あたり当期利益 (円 / 株)*	585	442	△ 143	
Adjusted EBITDA	840	885	15	
前提条件	LME (\$/t)	2,526	2,500	△ 26
	為替レート(円 / \$)	153	145	△ 8
	為替レート(THB/\$)	34.9	34.5	△ 0.4
	ドバイ原油 (\$/bbl)	78	80	△ 2

* 株式分割前の1株あたり当期利益

株主還元方針

中計期間中の還元方針に変更はない

第4次中期経営計画期間 還元方針

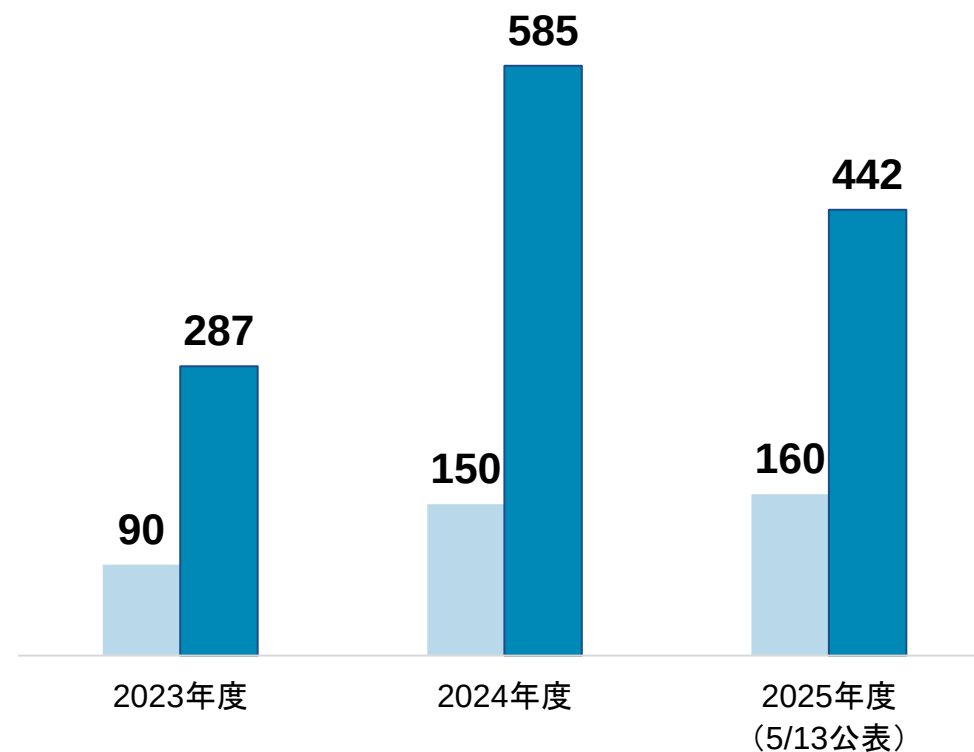
安定的かつ継続的な配当を目指す

⇒第4次中期経営計画(24～27年度)期間中の
配当性向は最終利益の30%以上が目途

	2024年度	2025年度 (5月13日公表)
最終利益	280億円	200億円
年間配当*	150円/株	160円/株
配当性向	25.6%	36.2%
自己株式 取得	(2025年2月) 300万株/151億円	-

1株当たり配当*/1株当たり当期利益*

(単位:円)



■ 1株当たり配当 ■ 1株当たり当期利益

株式分割

普通株式1株につき、4株へ分割することを決定

株式分割の目的

投資家層の拡大

- 投資単位当たりの金額の引き下げ
- 流動性の向上

⇒投資しやすい環境へ

スケジュール

基準日公告日	2025年9月12日（金）
基準日	2025年9月30日（火）
効力発生日	2025年10月1日（水）

発行済み株式数の変化

株式分割前	株式分割後
46,328,193株	185,312,772株

配当予想の修正

2025年5月13日公表の1株当たりの期末配当予想に実質的な変更はない

	5月13日 公表	今回予想* (株式分割前換算)
中間期	80	80
期末	80	20 (80)
合計	160	- (160)

* 2025年9月30日を基準日とする中間配当金は、分割前の株式数を基準に実施予定

3. 企業価値の向上



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

2025年7月の格付A格取得により最適な資本構成に向けて前進
さらなるβ値の改善、IR活動の強化によりPBRの向上を目指す

株式価値最大化に向けて（第4次中計にて公表）

ROEの改善（目標9%以上）

- 事業利益目標：600億円
- ROIC目標：9%以上
- 価値創造プロセス
- 事業戦略
- 成長シナリオ

エクイティ・スプレッド

早期に
1%以上に

株式価値最大化
（PBR1.0倍以上）

PBR 0.84倍
6/30時点

資本コスト低減（目標7%台） 期待成長率の引き上げ

- 最適資本構成の実現
⇒ 格付A格の確保
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

株価・PBRの推移



格付投資情報センター・日本格付研究所の信用格付においてA格を取得

- ✓ 第4次中期経営計画の目標であった両格付機関からのA格取得を達成
- ✓ A格取得によりDebt調達柔軟性が向上、財務リスク低減により株主資本コストを改善

格付機関	格付対象	格付変更前	格付変更後	最新の格付情報取得日
格付投資情報センター R&I	発行体格付	BBB+	A-	2025年7月14日
	CP格付	a-2	a-1	
日本格付研究所 JCR	発行体格付	A-	A-	2025年7月10日
	CP格付	J-1	J-1	

引き続き強固な財務基盤を構築しつつ、企業価値向上に向けた取り組みを進める

株式会社格付投資情報センター(R&I): <https://www.r-i.co.jp/rating/index.html>

株式会社日本格付研究所(JCR): <https://www.jcr.co.jp/>

川崎重工業様より『第12回ベストパフォーマンス賞』を受賞

航空エンジン分野での供給能力向上と品質対応で顧客課題を解決



受賞式での集合写真(川崎重工業航空エンジンディビジョン、古河産業の皆さまと)



2度目の「ベストパフォーマンス賞」の受賞

- ✓ 川崎重工業 航空宇宙システムカンパニー 航空エンジンディビジョン様より、「第12回ベストパフォーマンス賞」を受賞
(2022年の第9回での受賞に次ぐ2度目)
- ✓ 航空エンジン分野での生産活動に貢献したサプライヤーとして評価



安定供給を支える製販一体の取り組み

- ✓ 供給能力の向上
コロナ禍からの急激な需要回復に対して、供給能力を維持・向上
(製造プロセスの適正化、機械加工設備の増強、外注加工先の追加等)
- ✓ 情報共有と事業間の製販連携の強化
航空宇宙・防衛材事業本部の発足を機に、板、押出、鍛造製品および加工品の販売について一本化を進め、情報共有と製販連携を強化

ファッションブランド「ECOALF*¹」のシューズラックに「ALmitas+ SMART*²」が採用

軽くて組み立ても簡単になり、作業の負荷低減や運搬で生じるCO₂排出量削減に貢献
～新宿からスタートし、順次各拠点にて導入～



- ✓ 環境問題と向き合う姿勢を訴求するECOALFから、リサイクル材を用いたアルミ製シューズラックのご要望があり実現
- ✓ UACJグループで「ALmitas+ SMART」を用いたシューズラックを製造
- ✓ 「ALmitas+ SMART」を付した店舗什器としては初
- ✓ 今後、常設店舗やイベントなどに展開される予定

*¹ECOALF:「地球環境を守るために服をつくる」という発想で、海のゴミから服を作るなどの取り組みを進める、スペイン発サステナブルファッションブランド

URL: <https://store.sanyo-shokai.co.jp/pages/ecoalf>

*²ALmitas+:「素材+α」の付加価値を体現する、UACJグループの取り扱うアルミ素材・製品のファミリー・ブランドで、ALmitas+ SMARTは、環境性や循環性のソリューションを提供するカテゴリー

URL: <https://almitas.uacj-group.com/>

ご参照) 2025年6月4日 [環境配慮型アルミ材「ALmitas+ SMART」のシューズラックをサステナブルファッションブランド「ECOALF」に納入：グローバル アルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ](#)

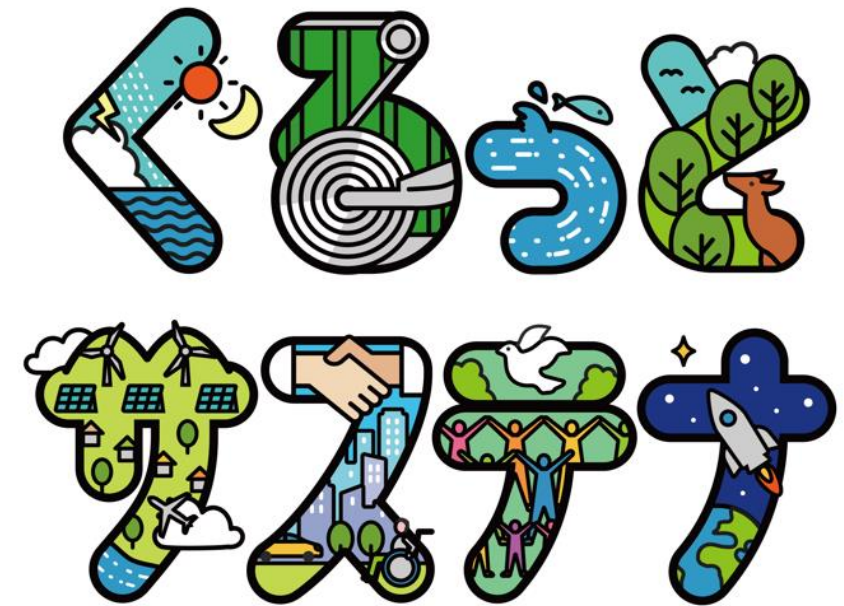
サステナビリティ オウンドメディア「ぐるっとサステナ」の開設

アルミニウムの循環型社会を目指し、サステナビリティに関する情報を発信する従業員参加型サステナビリティ専門メディア「ぐるっとサステナ」を8月5日に当社HPにて公開

< メディアのコンセプト >

- ✓ 循環型社会の実現に向け、アルミニウムの優位性やUACJの存在意義を発信
- ✓ UACJで働く一人ひとりが主体となり、UACJと繋がる仲間と取り組むサステナビリティの活動を紹介

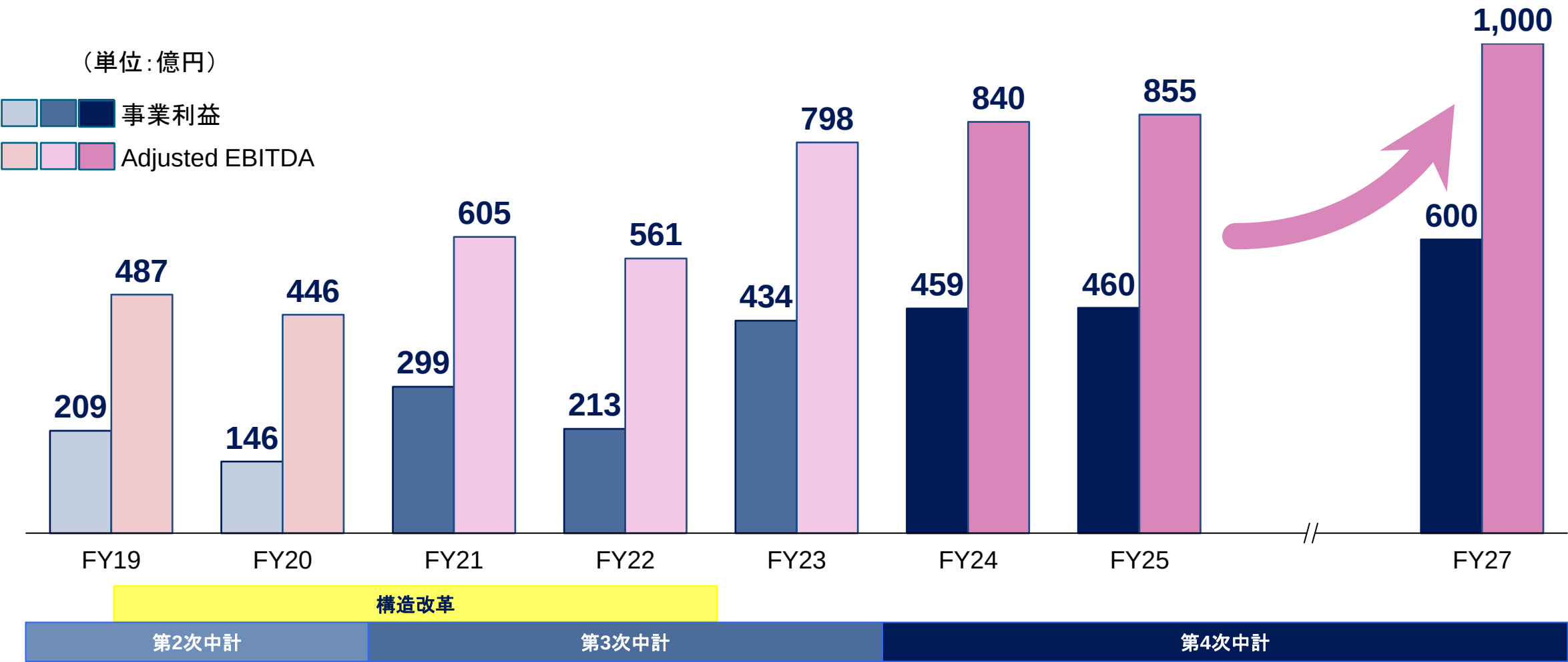
『ぐるっと』には、
多様に広がるサステナビリティの取り組みを『ぐるっと』見渡せるように、
アルミが『ぐるっと』めぐるように、
そして、取り組みの輪が『ぐるっと』広がるように、という思いがこめられています。



"GRUTTO SUSTAINA"
UACJ sustainable web magazine

「ぐるっとサステナ」へのアクセスは『 <https://grusus.uacj-group.com> 』

第4次中期経営計画達成に向けて、順調に進捗。さらなる向上へ



サステナビリティ2025 説明会

2025年11月26日(水) 午前予定

開催方式

ハイブリッド形式(UACJ本社ビル/ZOOM)

登壇者

代表取締役 社長執行役員

田中 信二

執行役員 サステナビリティ推進本部長

成田 緑 他



4. ご参考



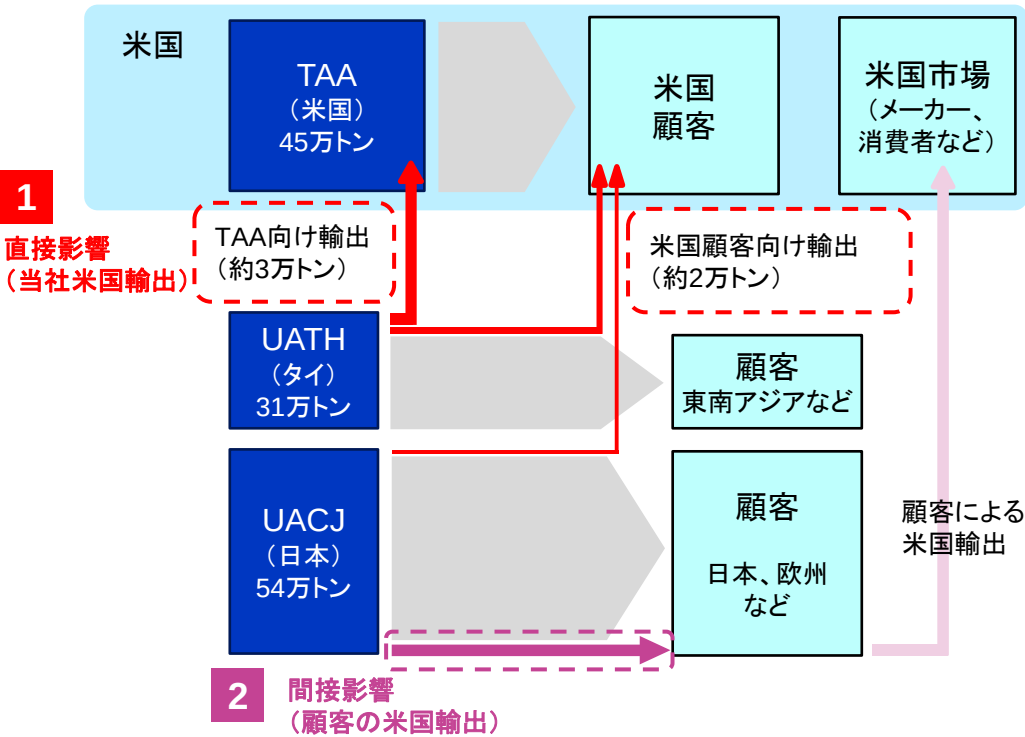
Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

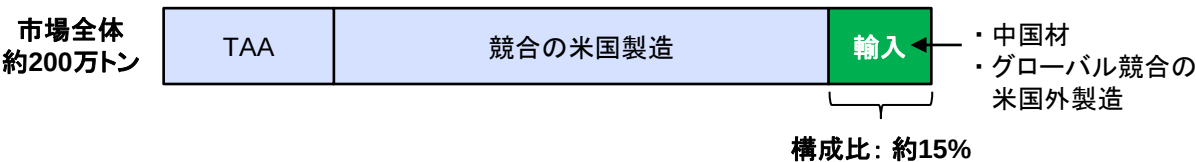
アルミニウム製品を取り巻く米国追加関税とその影響

現段階では、グループ全体で大きな影響はないものと想定しているが、引き続き関税の動向を注視する

■ 板事業の販売構成 ※数値は2024年度販売数量



■ 米国缶材市場の構成（2024年） ※UACJ推定



■ UACJグループへの影響

分野	UACJグループへの主な影響
1 直接影響	
缶材	● 25年は契約済みの販売量に大きな変動はない見込み ● 26年以降は、追加関税・適用除外制度の廃止を受け、タイからの販売が減少する可能性
自動車関連材	● 米国内競合の工場閉鎖を受け、日本・タイから輸出する自動車関連材の販売が増加する可能性
2 間接影響	
自動車関連材	● 日本、またメキシコ等から米国への輸出台数の減少により、自動車関連材の販売が減少する可能性
日本の顧客が米国へ輸出するアルミニウム部品	米国内に代替供給先がない製品が多いため、販売が短期間で減少する恐れは低い
■ 米国拠点（TAA、UWH）への影響	
缶材	● 米国製缶メーカーの地産地消傾向がさらに強まる可能性
自動車関連材	● 米国OEMの米国製部品への切り替えにより、UWHへの部品引き合いが増加する可能性
原材料	● 新地金価格（MWP*）は上昇 ● スクラップ価格は今後の動向を注視

*MWP ミッド・ウエスト・プレミアム

アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

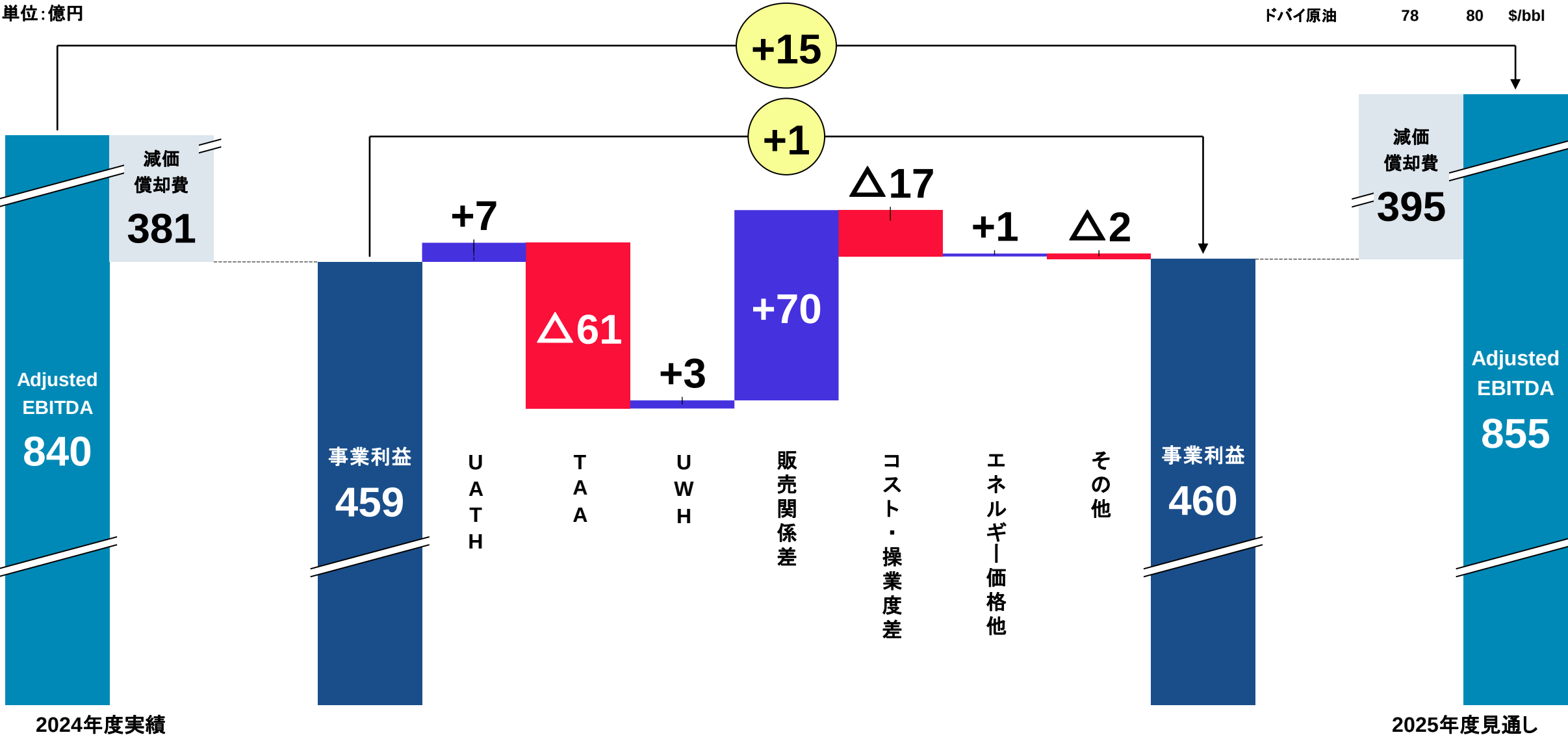
品種	2024年度実績 (A)	2025年度見通し (5月13日公表) (B)	差異 (B)-(A)
缶材*	851	928	77
箔地	42	42	0
IT材	10	11	1
自動車材	134	136	2
厚板	42	47	5
その他一般材	187	187	0
合計	1,266	1,351	85
日本市場	489	490	1
海外市場	777	861	84

* 内部取引控除後の数量

事業利益分析（2024年度 → 2025年5月公表）

通期前提条件 (FY24 → FY25)			
LME	2,526	2,500	\$/t
為替レート	153	145	円/\$
	34.9	34.5	THB/\$
ドバイ原油	78	80	\$/bbl

単位: 億円



設備投資・減価償却費

2025年度は中計期間中で計画する設備投資を前倒して実施予定

		2024年度 実績	2025年度 見通し	2024～27年度 計画
(単位:億円)				
設備投資	一般投資	188	223	820
	戦略投資	231	322	780
	合計	419	545	1,600
減価償却費		381	395	1,600

4. ご参考

主要指標推移

	日 本 会 計 基 準			I F R S				(単位:億円)
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 1Q (単)	2025年度 (予)	
連結売上高	5,698	7,829	9,629	8,928	9,988	2,620	10,400	
連結営業利益	111	595	172	314	574	85	450	
事業利益	-	-	-	434	459	79	460	
棚卸資産影響前 連結経常利益	62	213	161	-	-	-	-	
連結経常利益	60	523	87	-	-	-	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△33	321	47	139	280	13	200	
設備投資 一般投資	109	129	210	217	188	23	223	
戦略投資	72	79	54	114	231	89	322	
合計	181	207	264	331	419	112	545	
減価償却費	334	340	373	364	381	95	395	
有利子負債残高	3,358	3,394	3,367	3,109	3,407	3,788	-	
ROE(%)	△1.8	15.6	1.9	5.3	9.9	-	6.8	
ROIC(%)	2.2	11.1	3	7.5	7.6	-	7.2	
D/Eレシオ(倍)	1.56	1.36	1.25	1.0	1.0	1.1	1.0	
営業キャッシュフロー	386	78	526	949	91	△ 82	-	
投資キャッシュフロー	△ 210	△ 210	△ 269	△ 362	△ 369	△ 172	-	
フリーキャッシュフロー	177	△ 132	257	587	△ 278	△ 254	-	
株主資本(日本基準)	1,775	2,090	2,096	2,105	2,139	2,096	-	

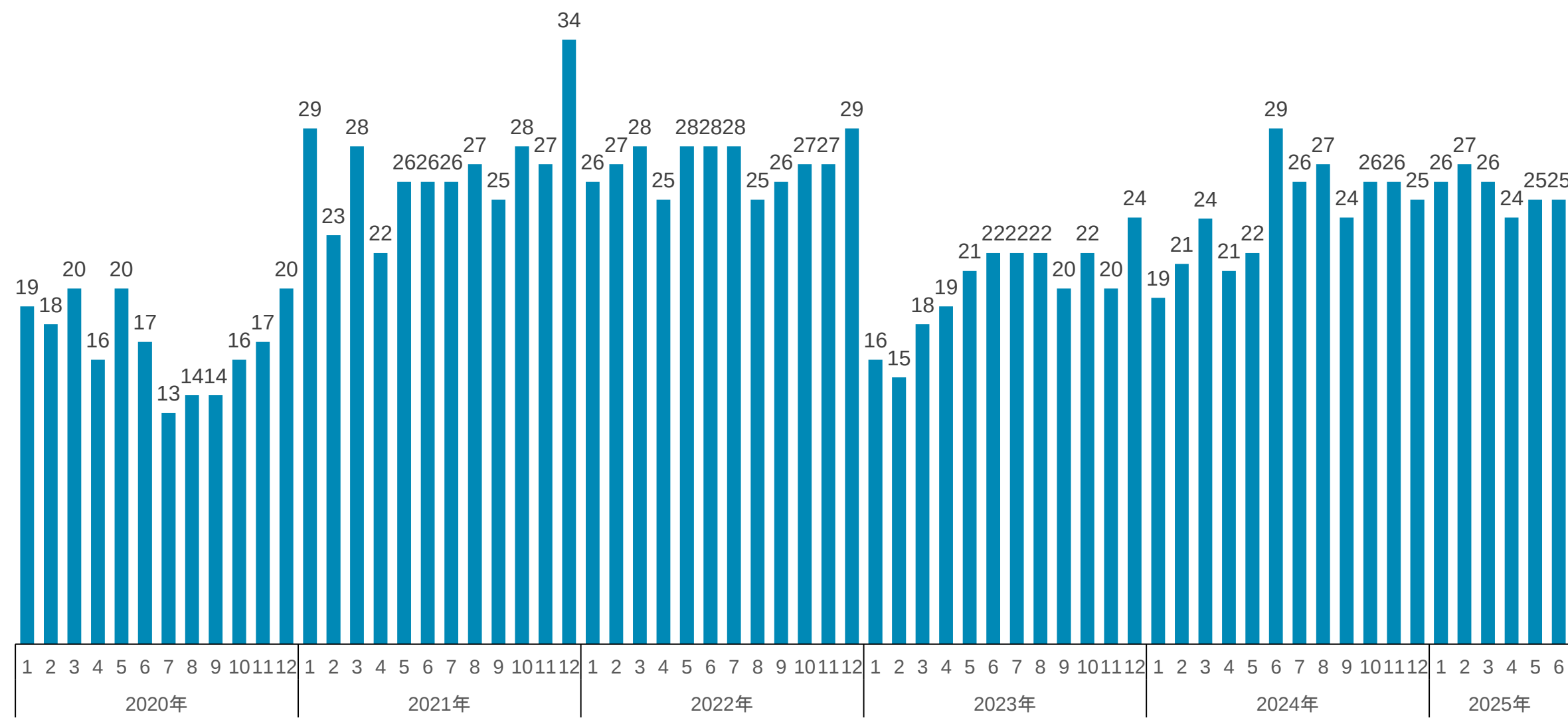
海外主要子会社 業績推移

(単位:億円)

	2024年度							2025年度	
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	通期見通し
UATH									
販売量(千トン)	72	77	149	78	79	157	306	74	336
売上収益	453	494	947	521	546	1,067	2,014	467	2,232
営業利益	52	7	59	△ 5	0	△ 5	54	△ 15	30
(棚卸資産影響)	33	△ 4	29	△ 11	2	△ 9	20	△ 15	△ 11
事業利益	19	11	30	6	△ 2	4	34	0	41
TAA									
販売量(千トン)	109	118	227	106	116	222	449	128	480
売上収益	713	721	1,434	685	798	1,483	2,917	845	3,070
営業利益	107	75	181	73	74	147	328	66	189
(棚卸資産影響)	24	△ 2	22	21	36	57	79	16	1
事業利益	83	77	160	52	37	89	249	50	188
UWH									
売上収益	101	93	195	84	96	180	375	94	388
営業利益	4	2	6	△ 2	5	3	9	△ 0	17
(棚卸資産影響)	△ 1	0	△ 2	0	△ 3	△ 3	△ 5	△ 1	0
事業利益	5	3	8	△ 2	8	6	14	1	17

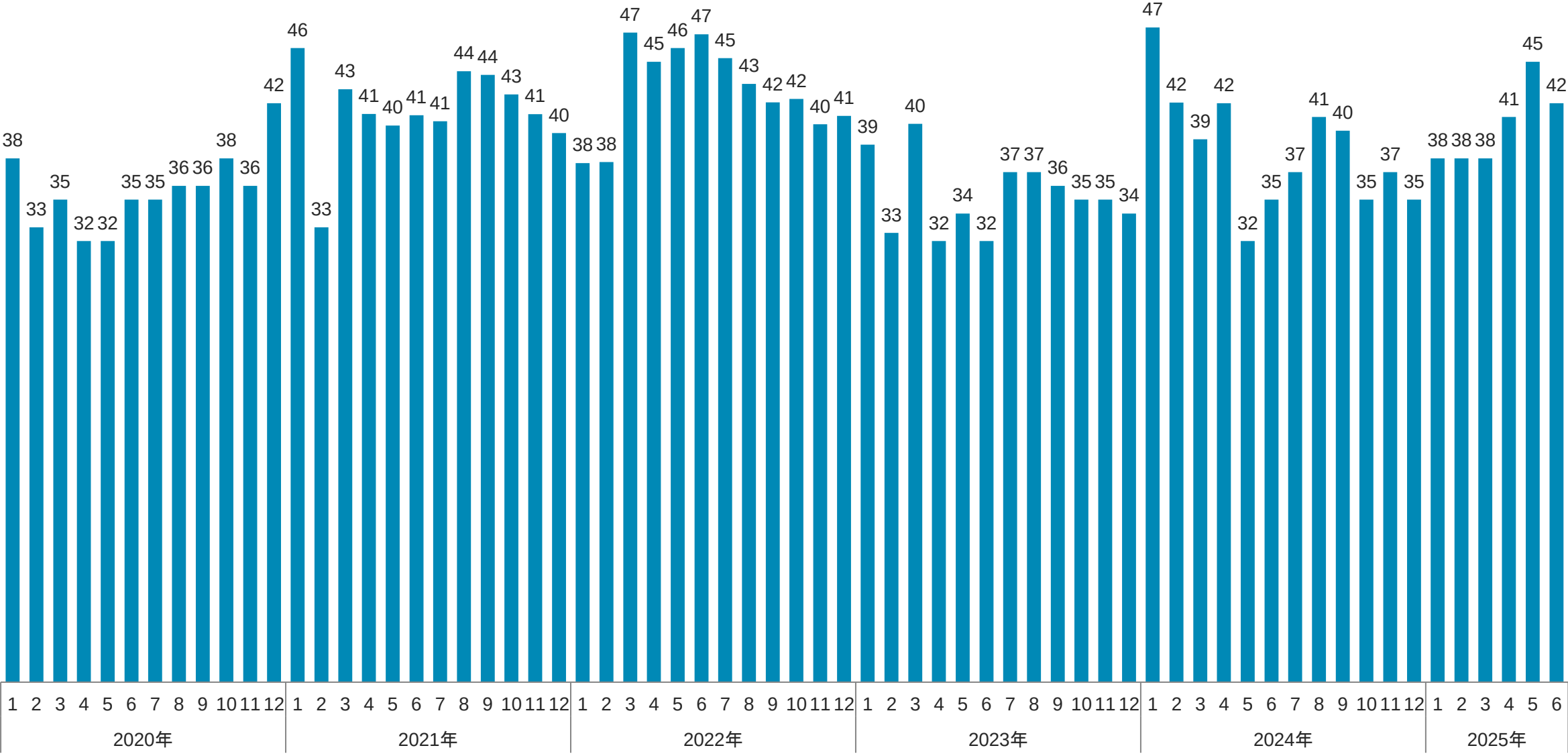
UATH 月次販売数量推移

(単位：千t)



TAA 月次販売量推移

(単位：千t)



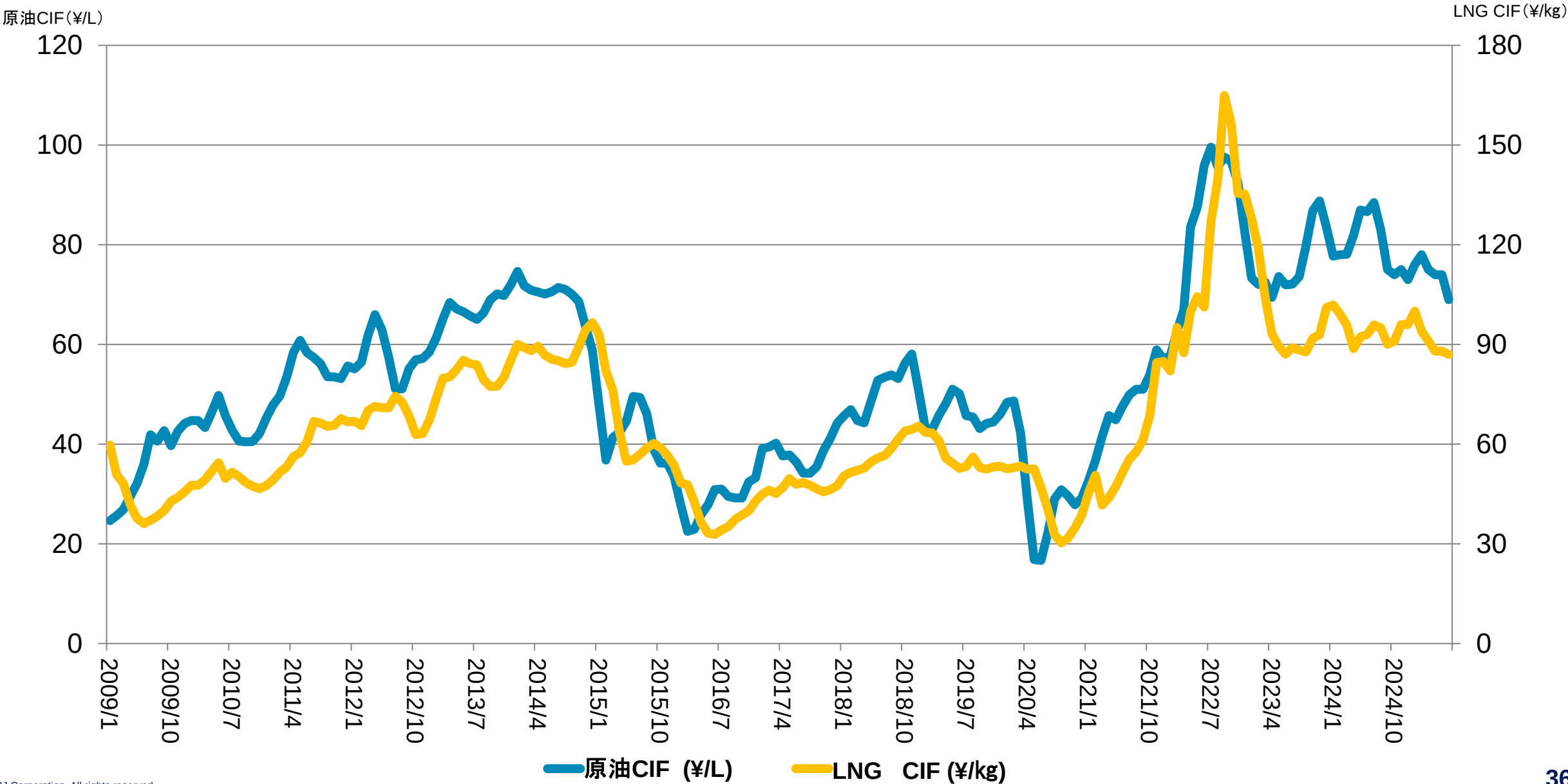
4. ご参考

諸元と感応度

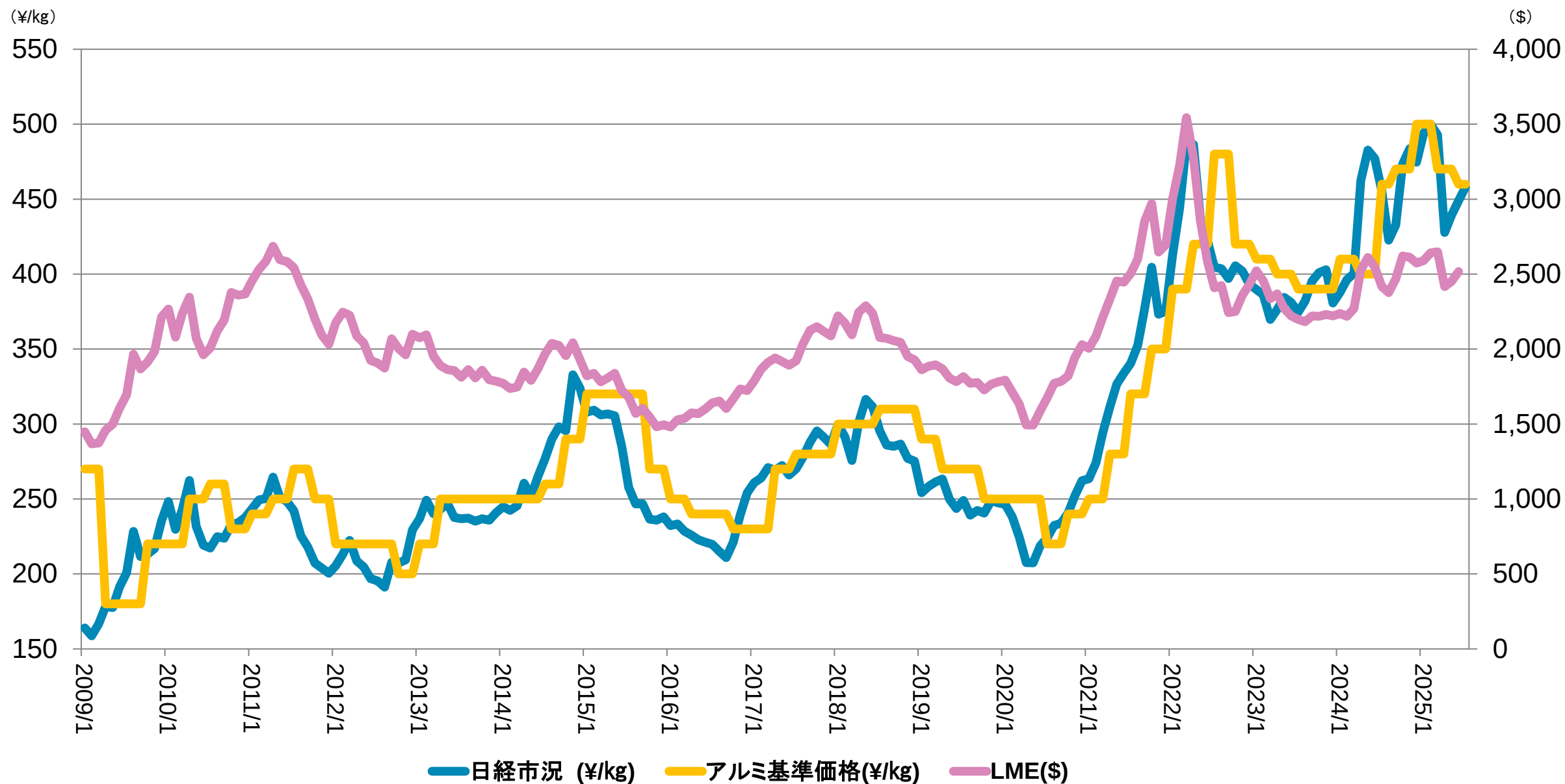
	2023年度 期中平均	2024年度 期中平均	2025年度 1Q平均	営業利益への 感応度
LME (米\$)	2,202	2,526	2,447	\$100/t上昇した場合 → +22～35億円/年
為替 (円/米\$)	145	153	145	・燃料単価、添加金属：円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差：円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	4.1	4.4	4.4	
為替 (タイバーツ/米\$)	35.2	34.9	33.1	・燃料単価、添加金属：THB高が有利 ・ロールマージン：THB安が有利
原油 (ドバイ：米\$)	82	78	67	10ドル上昇した場合 → △10～15億円/年

4. ご参考

燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



お客様に選ばれ続けるUACJであるために — ASI認証の取得

ASI(Aluminium Stewardship Initiative)

アルミニウムのサプライチェーン全体におけるサステナビリティの取り組みの向上や、ESG観点からの社会貢献を最大化することを目的とする国際イニシアチブ。

国際アルミニウム協会をはじめ、アルミニウムの生産者、加工メーカー、エンドユーザーなど様々な立場でアルミニウムに関わる企業が参画し、2012年に発足。

2018年度には監査・第三者認証の運用も開始。現在世界360以上の企業・組織が加盟

福井製造所および UATHラヨン製造所で、
ASIが発行する2つの認証を取得

UACJにとってのASI加盟の意義



ASIでの保証を裏付けに
製品を出荷

サステナブルな製品で
最終消費者の期待を実現



環境・社会・ガバナンス面で
高い基準を満たす製品を要求

”サステナブル”な
商品へのリクエスト

業界のリーディングカンパニーとして
認証取得と更新を行う。
グローバルなルール作りの場に参画していく

海外の飲料缶大手を中心にASI取得が
取引条件に設定される事例が増えている。
今後、欧州圏から他地域への拡大、他分野
への拡大が予想される。

棚卸資産影響

アルミ圧延事業における棚卸資産影響

① 平均法による材料費計算

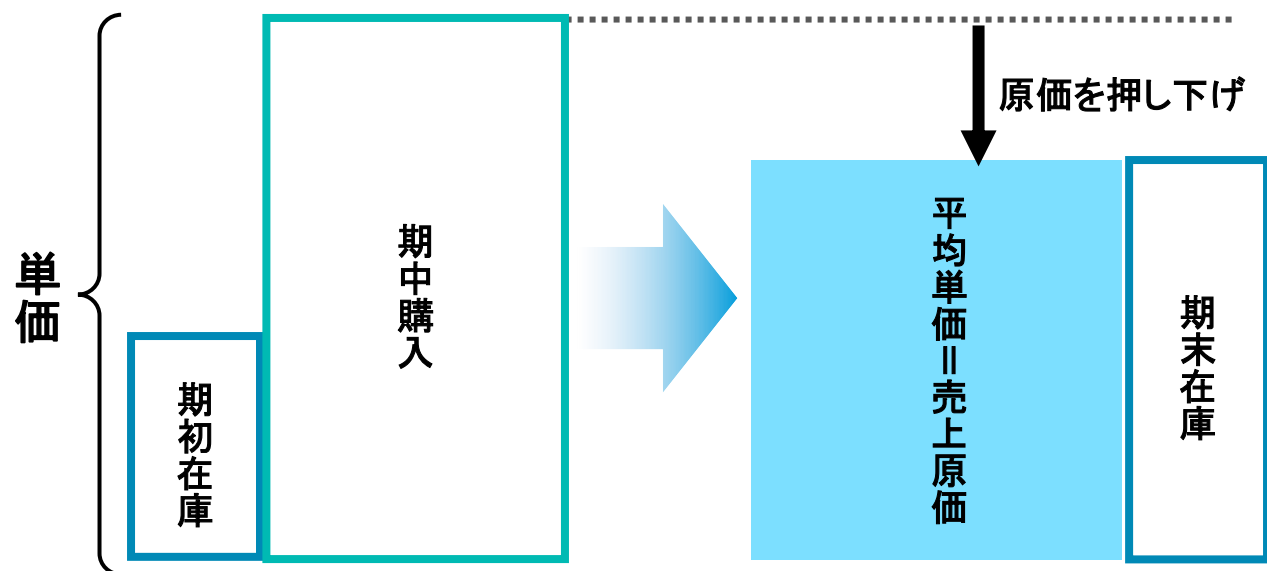
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算（期首在庫が影響）

② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

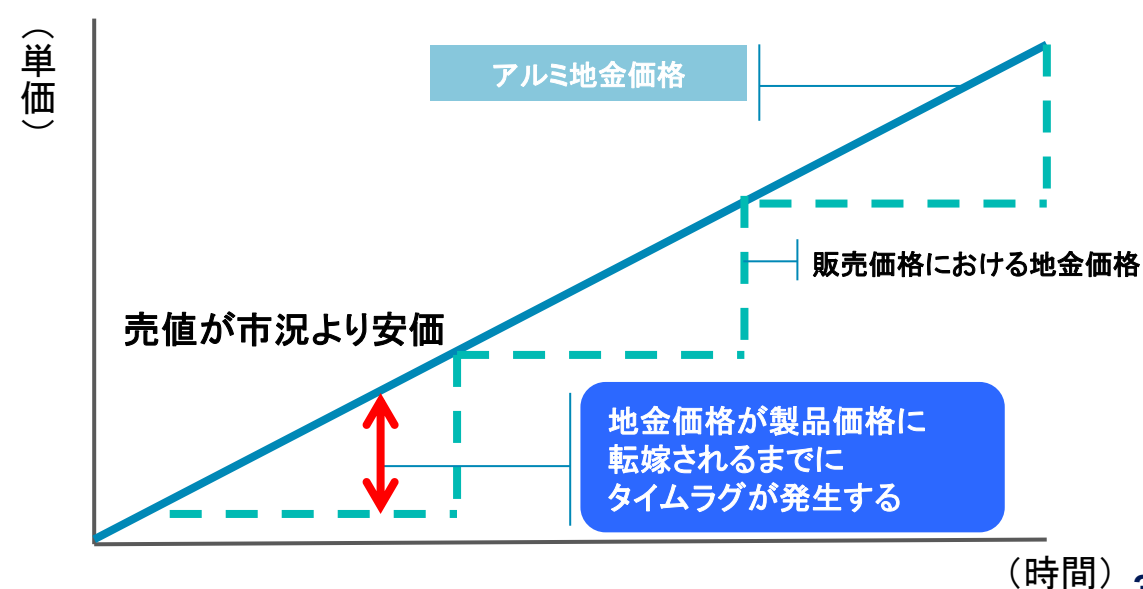
① + ② = 棚卸資産影響

【アルミ地金価格上昇】

① 平均法による材料費計算



② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



UACJグループが目指す軽やかな世界

UACJグループ理念



企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観(バリュー)

行動指針「UACJウェイ」

相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

行動指針「UACJウェイ」



企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

事業を通じて
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を
未来に継承するために



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

People 人

従業員一人ひとりの幸せが
家族やすべての人に広がることをめざして



社会 Society

豊かで調和ある
社会をめざして

100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならではの。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。

未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

web-contact-ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

